



大飯原発4号の再稼働反対/ 大飯原発3号、高浜原発3・4号の運転停止を求めて



[福知山市の回答]

火山灰問題	規制庁の正式な見解が出た時点で判断する 関電と規制庁の見解が違っており、関電が反論するかもしれないので
安全協定の同意権	京都府の7市町高浜原発地域協議会で議論し要望している
放射能放出と被ばくの過小評価	関電の考え方を説明しているもので「安全神話」とは思わないが 関電に再度話を聞く



4月25日、火山灰問題等について、高浜原発4号の再稼働反対、大飯原発3号、高浜原発3・4号の運転停止等を求めて、京都府福知山市に申し入れに行きました。市民は、福知山市からと、南丹市・神戸・大阪から市民、計5名が参加しました。

市は、担当する危機管理課から水口学室長、牧正博次長、田和昌弘係長の3名が対応されました。市役所5階の会議

室で13時30分から、1時間の予定を少し超えて3時頃まで話し合いました。

市の担当者は、室長以外の2名は新たな担当者で、昨年までとは様子が違い、関電寄りの回答が目立った申し入れとなりました。自らで情報を精査し、自らの頭で考え、市民サイドに立った対策を実行してほしいものです。

まず、4つの要望については、一つずつ、「要望として承る」という消極的な回答でした。

◆火山灰問題について

関電が実施した大山生竹火山灰（DNP）調査結果について、関電から3月に報告は受けているとのことでした。他方、規制委員会・規制庁が関電の見解を否定し、自らが審査で合格を出した火山灰層厚10cmが過小だと事実上認めたことについては、規制庁から報告は受けていないと回答。

市は、規制庁もまだ「正式な判断ではない」としているし、関電も反論していくと言っているため、市としては規制庁の正式な判断を待って判断したいと繰り返しました。

私たちは、3月28日の規制委員会で、10cmが過小評価だったということがはっきりしており、規制委が審査のやり直しについて言及していることも伝えました。しかし、「関電も反論している」と関電寄りの対応だったことには驚きました。

◆同意権（事前了解の権限）を含む安全協定について

原発稼働の同意権については、従来から地域協議会を通して要望しているので引き続き京都府に求めていきたい、との回答でした。

福知山市は高浜原発から30km圏内のため「高浜原発」に関わる協議会のメンバーですが、「大飯原発」の協議会メンバーではなくオブザーバーという立場です。今までは日程が合わなかった

ので参加していなかったということなので、これからは日程調整してぜひ大飯の方にも参加してほしいと要望しました。

福知山市は昨年（2017年）10月に関電と安全協定を改定し、事故等の通報については、これまでの京都府を通じてではなく、直接関電から連絡が入るようになったとのことです。しかし、立ち入り調査の権限はないままです。



また、高浜・大飯の同時発災も想定されているのだから、高浜・大飯合同の地域協議会の開催を京都府に要望してほしいと伝えました。これには具体的な回答はありませんでしたが、首肯していました。

◆関電の放射能放出・被ばくの過小評価について

関電の評価・説明では、炉心溶融が起きても被ばく量は毎時 $0.03 \mu\text{Sv}$ で、通常時より低く、「一時移転の必要なし」というもので、住民を愚弄しています。この「安全神話」の宣伝については、室長は「関電の考え方であって、安全神話とは考えていない」と関電の主張を是認する発言に終始しました。

熊本地震の例で屋内退避の危険性を訴えたり、九電玄海原発 UPZ 圏内自治体の首長らによる安全宣伝批判を紹介しても、意見は変わりませんでした。「関電に再度確認してみる」とのことでした。しかし、苦勞して作り上げた市の避難計画が根底から覆される内容ですよという指摘には言葉が無かったようです。住民説明会を再度開き、住民に直接謝罪するよう関電に求めるべきではないかという問いかけには、「要望があったことは、関電に伝える」と言うだけでした。高浜・大飯の両原発が稼働していることに対する危機感が希薄なのには驚きました。

◆安定ヨウ素剤の事前配布について

おおい町長が 30km 圏内での安定ヨウ素剤の事前配布を求めていることを紹介（4/23 毎日新聞）し、福知山市でも事前配布を実施してほしいと要望しました。市としては、事前配布のためではないが、事前に問診などを実施し、事故時の配布がスムーズに行えるように検討を進めるとのことでした。事前配布に踏み切れない懸案リスク（紛失・時期の適正・副作用）について、市民側からクリアできることを丁寧に説明しました。

また、安定ヨウ素剤は、現在市街地の 2 病院に備蓄されていますが、UPZ 該当の地区で備蓄場所を増やすように要望しました。対象者は 500 人程なので、早々に実現できそうな規模だと考えられます。早急な検討を求めました。

※福知山市への質問・要望書

http://www.jca.apc.org/mihama/saikado/fukuchiyama_city_youbou20180425.pdf

※大飯原発 30 キロ圏内にもヨウ素剤 おおい町長、自民特別委に求める / 福井

毎日新聞 2018 年 4 月 23 日 <https://mainichi.jp/articles/20180423/ddl/k18/040/111000c>

2018 年 5 月 2 日 避難計画を案ずる関西連絡会 参加者一同

